

公益財団フジシールパッケージング教育振興財団
2019年度奨学生の募集について

標記奨学生を下記の通り募集します。

応募資格に該当し、奨学金への推薦を希望する学生は、学内選考を行いますので提出書類を揃え、**3月20日(水)17時までに**教育推進・学生支援部学生課奨学掛へ提出してください。

1. 応募資格

次の各号のすべてに該当する者。

(1) 平成31年4月時点で、学部3年次もしくは修士課程1年次に正規生として在籍予定の者。

(2) 向学心に富み、学業優秀であり、かつ品行方正である者。

※前年度までの修得単位数が所属学部の標準修得単位数以上、かつ以下の計算式で75以上であること。

計算式： $\{(優+合格) \times 3 + 良 \times 2 + 可 \times 1\} / (全修得単位数 \times 3) \times 100$

または： $\{(A^+ + A) \times 3 + B \times 2 + (C + D) \times 1\} / (全修得単位数 \times 3) \times 100$

(3) パッケージに興味・関心のある者。

(4) チャレンジ精神が旺盛で国際感覚を持つ者。

2. 奨学金額・支給期間

月額奨学金(給付)

【学部生】50,000円

【大学院生】60,000円

採用時から、正規の最短修業年限の終期までとする。但し、各学年の進級時に応募資格に沿ってレポート提出による適正審査を行い、継続の可否を決定する。

3. 学内選考

学内にて書類選考を行います。

希望する方は**3月20日(水)17時までに**教育推進・学生支援部学生課奨学掛へ以下の書類を提出してください。

①奨学生申込書(※A3で印刷!「緊急連絡先」欄に保証人と連署。保証人は原則として保護者とする。)

②学業成績証明書

③推薦書(推薦理由は、指導教官等が記入すること。)

④在学証明書

⑤レポート(別添のレポートテーマを参照)

⑥平成30年の収入(年収額)を証明する書類(源泉徴収票、確定申告、あるいは市区町村発行の所得証明書の写) ※学内選考に使用します。

4. 学内選考の後、推薦等

学内選考により京都大学からの推薦が決定した学生へは、3月26日(火)までに通知します。大学より推薦後、財団にて書類による選考を行い、決定されます。

5. 奨学生の義務

奨学生は6月29日(土)に行われる認定式(大阪)、11月1日(金)に行われる研修会(東京)に出席するとともに、財団からレポート・制作物などの提出物を求められた場合(年4回程度)は遅滞なく提出しなければなりません。交通費、宿泊費は財団より支給します。

5. その他、連絡先

申込書類の情報は、奨学金業務(選考・推薦・奨学生管理等)のために利用し、その他の目的には利用しません。なお、応募書類は返却しません。



教育推進・学生支援部
学生課奨学掛(総合研究10号館)

【問い合わせ先・提出先】

京都大学教育推進・学生支援部学生課奨学掛
(窓口 9:00~17:00、土日・休日閉室)

Tel.: 075-753-2495

Mail: 840scholarship@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

※希望する学生は大学からのメールを受信できるよう設定してください。

フジシールパッケージング教育振興財団
奨学金申込書

年 月 日 現在

大学名	学部	学科	学年	写真
フリガナ		学籍番号		
氏名 印		性別 男・女	生年月日 年 月 日生	
現住所 〒		電話	携帯電話	
(メールアドレスのフリガナ) E-mail				
緊急連絡先			住所 〒	
フリガナ			電話	
氏名 印		関係		

年月	学 歴(高校卒業以降)

ご家族氏名	続柄	年齢	ご職業等

資格・TOEIC/TOEFLなどの点数・賞罰

海外留学・海外駐在について(経験・予定・希望など)

1. 奨学金を希望する理由 及び 用途
2. 学んでいる内容・研究内容
3. 学業以外で取り組んでいること(ボランティア活動・サークル・趣味・他)
4. 卒業後の進路・目標
5. パッケージングに関して学んでいることやパッケージングへの興味・関心
6. 今までで一番のチャレンジ
7. 国際的な興味・関心事について

推薦書

公益財団法人
フジシールパッケージング教育振興財団 御中

平成 年 月 日

京都大学教育推進・学生支援部長
田頭 吉一

下記のとおり貴公益財団法人フジシールパッケージング教育振興財団奨学生として適格と認め推薦いたします。

研究科・学部		学科・専攻	
学生氏名	生年月日	年	月 日
指導教員の推薦所見			
	指導教員 所属・職名 氏名	印	

2019 年度奨学生申請レポートテーマ

フジシールパッケージング教育振興財団

下記2つのテーマの内、いずれか1つを選択してレポートを作成してください。

パッケージの定義や本質（機能や役割等）を考え、あなたのバックグラウンド（専門分野・趣味嗜好など）、社会現象（Eコマース、SDGs、環境問題、少子高齢化など）や市場ニーズ、また、パッケージに触れる様々な方々の立場に立ち、発想を膨らませてレポートを作成ください。

記

1. 「既存商品のパッケージの改善提案」

現在、市場に出ている、または 出ていた商品のパッケージの改善提案です。
（全く違う包装形態からの転換や新しい機能の追加など）

2. 「あたらしいパッケージの提案」

現在、市場に出ていない、新しいパッケージの提案です。商品化されていないモノや、未来に現れるだろう「夢」のパッケージなど、自由な発想で提案ください。

- ・ レポートは A4 用紙 2 枚までとします。
- ・ フォーム・形式・書き方（ワード・手書き）等、一切自由です。

以上

公益財団法人フジシールパッケージング教育振興財団

設立趣意書

今日、わが国のみならず、世界中の各国において、商品パッケージの社会的な重要性が、従来に増して、ますますクローズアップされています。

それは、商品パッケージが、商品の中身を保護し、品質を保持するだけでなく、断熱・保熱・封緘・遮光など安全性を高めるなど「機能的役割」を果たし、内容物の説明、消費期限の明示など「表示的役割」に加えて、さらに「商品の顔」としてその訴求力を高めて、社会的な価値を創造しているためです。

従って、商品パッケージ、とりわけその機能と表示的役割に関する研究に従事する者の育成、研究意欲の助成ならびにその成果を育成することは極めて緊要のことです。

当財団の設立者である藤尾正明は、つとにこの点に着目して、これに強くかつ深い情熱を注ぎ、わが国のみならず、世界の商品パッケージ界の当面する幾多の問題に常に率先して適切な提案と措置を行い、寧日なく指導と助成の手を差し伸べてきました。

ここに同氏は多年抱いてきたその意志を実現するため、公益財団法人フジシールパッケージング教育振興財団を設立し、いささかながら、わが国および世界の商品パッケージ、取り分け、その機能的・表示的役割の振興を図ると共に、その研究開発に従事する人材の育成、研究開発の奨励・助成をし、わが国および世界中の経済、産業の発展に寄与せんとするものであります。

この目的を達成するための当法人の事業は、応用化学（プラスチック製品）、機械工学、電気電子工学、高分子工学等の工学系およびデザイン関係の学部学ぶ国内の大学生および大学院生ならびに外国人留学生に奨学金の支給をし、社会有用の人材育成と技術研究に寄与したいと考えております。

株式会社フジシールインターナショナルの創業者である藤尾正明と藤尾弘子の出捐により本目的が遂行され、斯界の進展と日本および世界中の商品パッケージの水準向上に、いささかでも寄与することができれば、最も欣快とするところであります。